

目標達成計画

作成日: 平成 22年 10月 14日

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1 (1)	前管理者のもと作られた「生きがいと安らぎのある充実した暮らし」は抽象的で職員によっては、捉え方や理解の仕方が異なり、浸透しにくかった。	「笑顔で気持ち良く」の言葉を新理念とし利用者が笑顔で暮らしていけるように、職員は、常に笑顔でどの援助にも取り組んでいく。	<ul style="list-style-type: none"> 利用者や利用者家族の要望や希望には「はい」と笑顔でお答えします。 職員間でも、常に笑顔で接します。 	3ヶ月
2	35 (13)	夜間の一人体制は、これ以上の増員は不可能。一人体制での災害等発生時の不安は大きい。	夜間一人体制の災害等発生時の対策を検討し、不安軽減に努める。	<ul style="list-style-type: none"> 再度、同町内の職員(家族含む)の避難誘導協力の依頼と確認を行う。 各災害時を想定した一人体制時の訓練を、隔月のミーティング時に行う。 他施設(GH)の夜間帯の対応を学び参考とする。 	6ヶ月
3	7 (5-2)	なくて当然という意識から、虐待について学ぶ機会が少なかった。	研修や勉強会を開催することで虐待について学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 身体拘束委員が中心となり、「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律の概要」について、勉強会を開催する。(11月から開始、年2回以上) 職員の精神状態が利用者のケアに影響することもある為、メンタルヘルスケア等の研修に積極的に参加する。(12月参加予定) 	9ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月